

事業所名

スマイルのお家 ちゅうおう

支援プログラム

作成日

R6年

11月

13日

法人（事業所）理念	友達と一緒に遊びや活動、作業を通じてコミュニケーションを取り、集団生活への参加そして将来の自立へ向けた支援を行い、優しく温もりのあるお家、安心感、達成感、充実感を感じて生きる喜びを味わえる空間を目指しています		
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びながら学ぶ支援 遊びの場を通じて、社会性や対人関係でのルールやマナーを身に付けられる様に支援 ・季節を大切に作る療育支援 四季を感じる行事を取り入れた療育を行い記憶に残る思い出作りをし、子どもたちの成長に繋げる。 		
営業時間	平日 9時00分 土曜日 10時00分 学校休日 11時00分	分から 18時 0分まで	送迎実施の有無 (あり) なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	日常生活で安全に過ごすために交通ルールの大切さを学ぶ支援。 定期的かつ、定時に通所することによる生活リズムの安定。日常的に手洗いうがいの習慣をつける。 食事の姿勢や咀嚼の支援。クッキングやおやつ作りを行い、食への興味や関心が高まるよう支援。	
	運動・感覚	さっかあ療育、リトミック、レク大会、体で遊ぼう等体全体を使い体幹や感覚を鍛える活動の実施。 個々の特性に合わせ、はさみやのり等の用具の操作を学べる工作活動の実施。	
	認知・行動	天気・曜日・日付の把握と確認による感覚・数の認知形成。1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成。 季節の変化への興味などの感性形成のためのイベント・外出の実施。 外出時に車内や戸外でのルールを学ぶ。	
	言語 コミュニケーション	言語能力の向上の為、帰りの会での発表する機会を通じて言語表出・受容を促す。 挨拶や感謝の言葉を習慣にし、状況に応じた言葉使いを学ぶ。 コミュニケーション機器やハンドサインを活用し、環境の理解と、意思の伝達がスムーズに出来るよう支援。	
	人間関係 社会性	集団生活での人との関わり方を学ぶ機会を設ける。(ごっこ遊び・模擬駄菓子屋での実物の硬貨を使ったお金の計算・支払い等) 公共施設や工場見学等、社会資源を活用しルールやマナーを学ぶ。	
家族支援	連絡ノートや、自宅への送迎時にデイ内や家庭内での様子などを共有する。	移行支援	各機関での様子や情報を聞き取り共有する。
地域支援・地域連携	各関係各所との連携（相談支援事業所、学校、併用事業所、療育センター等） 自立支援協議会への参加。	職員の質の向上	研修期間あり（採用後3か月） 活動会議の実施 虐待防止・身体拘束の研修 社内外研修や動画研修の実施
主な行事等	月2回さっかあ療育、月3回リトミック、月2回体操教室、年4回レク大会、年3回体で遊ぼう 行事（初詣、節分、ひな祭り、子どもの日、七夕会、夏祭り、お月見会、ハロウィン、クリスマス会、カラオケ大会） 月2回全体での工作活動、公共施設や工場見学等への外出 体幹教室検討中		